



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

発行:2008年9月15日
発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守

新中川病院 副院長からのメッセージ ～地域住民の皆様のQOL向上を！！～

副院長 佐藤 利喜也



医療法人社団 鵬友会は救急指定病院として横浜西部を中心に24時間救急医療を担う湘南泉病院をはじめとする多数の病院、診療所、福祉施設を有しており「医療」と「福祉」で地域住民の皆様に貢献し「優しく愛される医療・福祉サービス」を目指しております。深刻な高齢化社会が進むなかで、私たちが目指すものは「医療」「福祉」を一体としたトータルヘルスケアで鵬友会はこの2つが有機的にネットワークしたシステムとなっております。その医療機関の1つである新中川病院は、一部急性期疾患にも対応しておりますが、主に慢性期疾患に対応しており、リハビリテーション等のスタッフ、設備等が充実しております。また、当院では予防医学にも力をいれております。現在、日本人の死亡原因の3分の1は脳梗塞や心筋梗塞等の動脈硬化による血管病と言われております。今年の4月から、国の生活習慣病対策である、いわゆる“メタボ健診”がスタートされました。これはメタボリックシンドローム（内臓脂肪型肥満症候群）の早期発見を目的として健康診断を行いメタボリックシンドロームあるいは、その

予備群とされた人は、それに対しての指導を受けられるのを義務付けるものです。この制度の受け皿として期待されているのは、当病院のように地域に根ざした医療機関であります。メタボリックシンドロームに起因する高血圧、高脂血症、糖尿病などは予防可能であり、また発症してしまった後でも食事運動・内服療法等により血圧、悪玉コレステロール値、血糖値等をコントロールすることにより、時として命にもかかわる心筋梗塞や脳梗塞、進行すると人工透析も必要となってくる腎疾患等を予防することは可能です。

当病院では医師、看護師、栄養士などにより色々な見地から様々なアドバイスが提供され、これにより患者様本人がより自分に合った運動・食事療法等を無理なく実践し、それを長期断続出来るよう、お力になれるよう努力しております。生活習慣病の早期発見・早期治療により、地域住民の皆様のクオリティオブライフの向上のお役に立てることを新中川病院を含め、鵬友会は願っております。

市民向け医療・福祉講座 開催のお知らせ

地域で支える認知症

参加費
無料

【第1部】基調講演(30分)

～ 認知症医療の現状と課題 ～

講師 横浜ほうゆう病院

院長 小阪 憲司

【第2部】シンポジウム

～ 認知症の地域連携を
めぐって ～

シンポリスト 横浜市旭区医師会 会長
横浜市旭福祉保健
センター
横浜市左近山地域ケア
家族 代表
専門医、看護師 他

日時：平成20年11月18日(火) 18:15開場～20:50

会場：横浜市旭区民文化センター サンハート

定員：300名 先着順

お申込み・お問い合わせ (お電話又はFAX)

- | | | |
|------------|-------|--------------|
| ・ 鵬友会本部 | 担当：上村 | 045-810-0331 |
| | FAX | 045-810-0371 |
| ・ 横浜ほうゆう病院 | 担当：広岡 | 045-360-8787 |
| ・ 新中川病院 | 担当：松田 | 045-812-6161 |

お気軽に
お申し込み
下さい！



阿久和鳳荘 夏祭り

平成20年7月20日(日曜日)午後13:30から、阿久和鳳荘 5階にて夏祭りを開催いたしました。

当日は、阿波踊り・出店(ソーセージ、タコ焼き、アイスなど)・職員による早食い競争・紅白玉入れと楽しい時間を過ごすことが出来ました。ご利用者様、ご家族様に楽しんでいただけたと感じております。

よーいドン！！



紅白玉入れ



早食い競争

祭

祭